

報 恩 寺 だ よ り

昭和47年7月20日

神奈川県高座郡綾瀬町寺尾889  
おたすけ観音 報恩寺  
電話 0467-78-0081

1. お施餓鬼～みんな揃ってお詣り下さい。

恒例のお施餓鬼を修行いたします。特に新盆（昭和46年7月～昭和47年7月に亡くなられた方）の施主の方は御参詣下さい。 ※ 8月7日（月曜日）

※ 午後0時30分御詠歌 午後1時法話山田拙成老師 午後2時大施餓鬼会

※ つけ施餓鬼 回向料500円 御希望の方は7月31日までに、担当世話人さん又は当山へお申込み下さい。ご参考までに年回早見表は下記のとおりです。

回忌	1	3	7	13	17	23	27	33	50	100	200	300
歿年	昭和 46	" 45	" 41	" 35	" 31	" 25	" 21	" 15	大正 12	明治 6	安永 2	延宝 1

※ お施餓鬼終了後世話人会議を開きますので、世話人の方は御出席下さい。

1. 日本人の心のふるさとインドへ

曹洞宗仏跡巡拝納経使節団として、檀家の有志の方183名の先祖代々回向の為筆写された般若心経をブッダガヤ大塔に納経し、2月8日～26日、インド、ネパール訪問の旅に行つて参りました。清らかな水をたゞえる仏誕の地ルンビニ園の誕生池、菩提樹繁り、ブーゲンビリヤの花咲き乱れる成道の地ブッダガヤの大塔、初転法輪の地サルナート博物館の2,100年前のアショカ王の建てた柱の上の獅子像、入滅の祥辰2月15日に参拝法要を修行した涅槃の地クシナガラを始め、王舎城、霊鷲山、祇園精舎等、日本人の心のふるさとへ帰り懐しさを感じました。

釈尊は約2,500年前に生れられ、35才の12月8日常緑の菩提樹の葉陰に悟りを得て、80才の2月、サラ双樹の下に入涅槃せられるまで、灼熱の太陽の下、混濁の大地の中を、真理と平和の旅を続けられました釈尊の足蹟、それは仏徒として、踏み継がなければならないものです。又現在のインドには貧困のため十分な治療を受けられないでいる200万人の癩患者の中2万人はアグクの日本救癩センターで、日本からの寄付により治療を行っていますが、その支援を観世音菩薩の行として行っていきたいと思います。

## 1. 盆踊大会

昨年第一回の盆踊大会を行いました。今年も婦人会、母親クラブの後援で、グラウンドで行いますので、お誘い合せて御参加下さい。

※ 8月19日(土) 20日(日) 午後7時

※ 曲目 1.北海盆唄 2.花笠踊り 3.昭和おんど 4.神奈川おどり 5.炭坑節 6.白浜おんど 7.相模甚句 8.東京おんど 9.相馬盆唄

※ 昨年の盆踊大会には27名の方から55,000円の寄付を頂き、当日経費15,000円練習会諸費用に40,000円を充当させて頂きました。

## 1. グラウンドの整備、駐車場の設置等

昭和5年にグラウンドが出来、第二次大戦中、バレーやテニスコートを作りましたが、今年6月末に橘川生コン土木部のブルドーザーで、子供が野球の出来るように約4反の土地を平にしました。又門前の土地を代官の山林同面積と柏木尹さんに交換して頂き、砂利を敷き駐車場にしました。なお、本堂の裏の池は石積をして整備する予定です。